



うきは市子育てと教育を進める集い

白壁ホールで8月18日、「子育てと教育を進める集い」が開催され、九州大学持続可能な社会のための決断科学センター准教授 比良松道一さんに、「『自炊力』を育むために」という演題で講演いただきました。参加者からは「手間をかけることの大切さがわかった」「早速実践したい」といった声がありました。



市への温かい寄付に感謝状贈呈

今年5月、市に1千万円を寄贈いただいた高山敏枝さん(吉井町徳丸、写真左)に8月31日、市役所で高木市長から感謝状が贈呈されました。芸術・文化活動振興を通じて、子どもたちの豊かな心を育む取組に貢献したいという意向を踏まえ、寄付金を活用させていただきます。



市議会議場で「子ども議会」を開催

うきは市民大学子ども未来学部体験学習の一環で、8月25日子ども議会が開催されました。小学生(4～6年生)47人が6班に分かれ、「今日は一日”子ども議員”～私のアイデアを提案しよう～」というテーマで、子ども視点での様々な提案に対して、市執行部が回答しました。



中学生が上海市でホームステイ体験

うきは市商工会の国際交流事業「中国上海市でのホームステイ体験」で、中学生12人が8月17日から5日間、上海市でのホームステイや中学校訪問などで交流を深めました。帰国後の市長表敬訪問(写真)では、習慣や文化の違いなどを学ぶことができたと報告がありました。



納涼盆踊り大会

8月19日、白壁ホール前お祭り広場でうきは市商工会青年部主催の納涼盆踊り大会が開催されました。浴衣姿での参加も見られるなか、家族連れなどたくさんの方が、やぐらを囲んでの吉井音頭や浮羽音頭などで盛り上がりました。



祝日「山の日」に、山のごみ拾い

山の恩恵に感謝する祝日、8月11日の「山の日」に合わせ、森林セラピーガイドの「うきは市癒しの旅先案内人協会」が市民に呼びかけて、調音の滝周辺(写真)とつづら棚田周辺のセラピーコースで、ごみ拾いを行いました。



初開催「ミズベリングうきは」

8月17日、吉井町の南新川周辺で、水辺の新しい魅力を作り出そうと、地域の有志により企画されたイベントが開催されました。白壁レディース21による紙芝居「五人の庄屋」で水との関わりを学んだ後、ライトアップされた川辺で、水鉄砲を使ったゲームや歓談などを楽しみました。



ふるさと大使平川新氏「防災講演会」

8月10日、市民センター小ホールで、田箆出身でふるさと大使の平川新^{あらた}さん（宮城学院女子大学学長）による防災講演会が開催され、「300年前の耳納連山^{くえやま}大崩落の実態」というテーマで、古文書「壊山物語」をもとに、歴史の教訓を防災に活かす大切さなどが強調されました。



「うきはん茶」の売上げを市に寄付

うきは茶振興会（堀江昭一会長）から8月28日、市の地産地消・食育の推進のために、昨年度の「うきはん茶」の販売収益金から12万6,144円（1本1円）の寄付をいただきました。今後の販路拡大についても、市長と意見交換されました。



空手道選手権で、全国大会に出場

九州大会で見事優勝し、全日本ジュニア空手道選手権大会（10月、千葉）に出場する石井美紅^{みく}さん（中央右・御幸小学校6年）と田中優瀬^{ゆら}さん（中央左・千年小学校4年）が8月29日、高木市長に出場を報告しました。後列左：所属の空手道場・誠武塾^{せいぶ} 佐々木師範



特別公開「藤波ダムの社会科見学会」

さまざまな地域資源を活かして観光を推進しようと、道の駅うきはの「ウキハコ」企画の観光プログラムとして、藤波ダムで8月18日、堤防の中の点検用トンネル（写真）やダム湖などが特別公開され、市内外から参加した15人が、ダム事務所職員の案内で施設を巡りました。



道の駅うきはで「うどん流し」

8月26日、道の駅うきはの展望デッキで、野菜生産者の会により、恒例の「うどん流し」が行われました。約15mの竹樋を流れる地元産の麺を、家族連れなど多くの方が味わいました。また、フルーツの里らしく、桃・ぶどう・梨や、野菜ではミニトマトも流されました。